

人生で何冊の本が読めるのか。 人生を変える本に何冊出会えるのか。

この夏、圧倒的な読書体験をしよう。平安堂スタッフがおすすめする厳選100冊。

小説

【名作】

十二人の手紙

井上ひさし
中央公論新社／¥776
12人の手紙だけで書かれた小説。不幸とすれ違いの中をさまよう男女の悲哀を見事に描いた名作。

小川洋子と読む 内田百閒アンソロジー

内田百閒
筑摩書房／¥968
「生涯、百閒以外読んではならない状況に陥っても構わない」小川洋子を選ぶ短編集。不思議な、時にドキリとする世界がここに。

新しい人よ眼ざめよ

大江健三郎
講談社／¥586
障害を持った長男との生活と、18世紀の英国詩人ブレイク。2つを縫いあわせる様に紡がれた短編集。奥深く最後に目頭が熱くなる。

檸檬

梶井基次郎
KADOKAWA／¥440
「何かが私を追い立てる」―彼は黄色い爆弾を手に店へ入る。十に満たない頁でも魅せる世界をあなたの目で確かめてください。

神戸・続神戸

西東三鬼
新潮社／¥473
俳人西東三鬼が戦中を過ごした神戸のホテル。港町に浮かびあがる憂気楼のような場所に、読めば誰もが滞り出来る一冊。

陰翳礼讃・文章読本

谷崎潤一郎
新潮社／¥605
日本古来よりある、西洋とは対照的な美意識。陰影の中にある情趣。宵闇に一人、風を感じながら、一献傾けてみませんか？

ノックの音が

星新一
新潮社／¥473
「ノックの音がした」から始まる様々な物語。ショートショートの大匠、星新一のセンスあふれる15の短編集。

砂の器 上・下

松本清張
新潮社／上¥781、下¥880
差別という日本の闇。戦後、明るさを取り戻す社会の中で、暗い過去を抹殺しようとする人間の業、今なお古びない。

新編 銀河鉄道の夜

宮沢賢治
新潮社／¥473
教科書に掲載される名作を編んだ童話集のようであり、全編、作者の一貫した死生観を現した、凄みのあふれる作品集です。

【現代文学】

阪急電車

有川浩
幻冬舎／¥586
僅か8駅のローカル線で紡がれる人間模様。一期一会でも新たな道を拓くような電車での出会いに、感動したり励まされたり。

死神の精度

伊坂幸太郎
文藝春秋／¥748
死神の仕事とは、対象者の死の可否に判断を下すこと。1週間調査、翌日実行。死神・千葉が出会う6つの人生を描いた短編集。

蜜蜂と遠雷 上・下

恩田陸
幻冬舎／各¥803
ピアノコンクールに挑む、魅力的な出場者達の葛藤と成長。「音楽」とは？音の色、景色が鮮やかに浮かぶ描写に驚かされる。

あなたの人生、

片づけます

垣谷美雨
双葉社／¥713
部屋の片づけを通して、自分の心と向き合っていく4つのストーリー。どれもじんわりと効いてくる心温まる物語です。

トヨトミの野望

梶山三郎
小学館／¥935
発売時、名古屋界隈の書店から本書が消えたという噂が…。「事実は小説より奇なり」とは言うが、どこまでがフィクションなのか？

銀河鉄道の父

門井慶喜
講談社／¥1,012
賢治ってこんな人だったの？天才・宮沢賢治の生涯が、父の視線を通して描かれる。誰も見たことのない彼の一生がこの一冊に終結。

すべて真夜中の

恋人たち

川上未映子
講談社／¥748
大きな事件は1つも起きません。ひとつの恋が静かに柔らかく始まり、痛く切なく終わる。ただそれだけで、でも特別な物語です。

任侠書房

今野敏
中央公論新社／¥748
組事務所が出版社の経営、そして立て直し？阿岐本組の面々の奮闘によって、本や雑誌は売れるのか？大人気シリーズ第一弾！

ロング・ロング・アゴー

重松清
新潮社／¥693
6つの再会の物語。後悔しても戻せない時間。子どもの頃の友達を思い出しながら読めば、誰にも1つは似たような物語があるはず。

革命前夜

須賀しのぶ
文藝春秋／¥979
冷戦下の東ドイツに集う音楽の天才達。社会主義の破綻―ベルリンの壁崩壊に至る過程が生々しく、音楽の美しさが一層際立つ傑作。

君の瞬臓をたべたい

住野よる
双葉社／¥734
物語の結末とタイトルコールから始まり、あっという間に引き込まれる。衝撃の終幕に、約束された未来などないと考えさせられる。

卵の緒

瀬尾まいこ
新潮社／¥506
瀬尾まいこさんの小説はいつもほんのり温かい。家族という確かなようで不確かな関係。その中にある希望と優しさにほっこり。

スロウハイツの神様

上・下
辻村深月
講談社／上¥726、下¥803
小さなアパートに集まる若きクリエイター達の群像劇。伏線満載の上巻と、それが一つに収束する下巻。読後は幸福感に包まれます。

最高のオバハン

中島ハルコの
恋愛相談室
林真理子
文藝春秋／¥660
金持ちでドケチ、本音で生きる中島ハルコ。なのに悩める人が絶えず寄ってくるのはなぜ？現代に実在してほしい、最高のオバハン！

たゆたえども沈まず

原田マハ
幻冬舎／¥825
正反対のようで、実は魂の双子のようなゴッホとテオ。繊細過ぎる彼らの生きざまは言葉にできない。読み終えたらもう一度序章を！

マチネの終わりに

平野啓一郎
文藝春秋／¥935
ともに40代、「人生の暗い森」を前に出会った二人。現代のあらゆるテーマを織り込みながら紡がれる、大人のための恋愛小説。

大雪物語

藤田宜永
講談社／¥726
2014年、1mの豪雪に見舞われた軽井沢、ここに住んだ作者が、この日偶然に起きた出会いと人間模様を描く吉川英治文学賞受賞作。

おばちゃんたちの

いるところ
松田青子
中央公論新社／¥704
「ごめんくださいまし」。また幽霊のおばちゃんが灯籠を売りつけにやっ来て来た！愉快なおばちゃんたちのクソと笑える怪談集。

物語のおわり

凄かなえ
朝日新聞出版／¥704
8つの短編がバトンのように繋がる。「イヤミスの女王」と呼ばれる作者ですが、この作品は悩める人々に希望をもたらします。

歌うクジラ 上・下

村上龍
講談社／各¥759
不老不死を手に入れた100年後の日本。「理想的な管理社会」の暗部を、現代が抱える問題を投影し強烈に描く。

カラフル

森絵都
文藝春秋／¥682
悩んでいた、行き詰ってしまった時に手に取ってほしい。真っ黒に見える世界を鮮やかにするためのヒントが見つかるはず！

有頂天家族

森見登美彦
幻冬舎／¥755
主人公・狸の矢三郎にとって一番の脅威は狸猫。狸と人間そして天狗の三つ巴、京都の街を巻き込んだ大騒動の物語。

風味絶佳

山田詠美
文藝春秋／¥583
もし世の中に食欲と性欲がなかったら、争い事はかなり減るだろう。でもそれがある世界に生きててよかった！と感じられる一冊。

- 店頭にはない商品はお取り寄せいたします。出版社における品切れ、価格改正の際はご容赦ください。
- 表示価格は税込価格です。

